

2022年度活動方針・事業計画（案）

1 活動方針

- ・「なにわエコ会議」は、市民、環境 NGO/NPO、学識経験者、事業者、大阪市が一体となって、地球温暖化防止活動をはじめ、さまざまな地球環境問題に取り組み、SDGs の達成に寄与していきます。
- ・環境情報誌「なにわエコウェーブ」の充実や、積極的な情報発信や、情報共有を通じて、会員団体・役員団体との連携を強化するとともに、あらゆる環境活動団体との連携・交流を深め、なにわエコパートナーの拡大を図ります。
- ・「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「地域と連携した環境教育啓発活動の推進」、「生物多様性の発見と行動の推進」を活動の柱とします。
- ・「環境ふれあいひろば」など「なにわエコ会議」活動に当たっては、4 部会が協働して実施します。

2 事業計画

【重点事項】

なにわエコ会議として、次の重点事項を掲げ、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指す地球温暖化防止とともに、ごみ減量、生物多様性など環境問題の解決に向けたさまざまな取組みを推進し、SDGs の達成に貢献します。

- ① 情報発信を強化し、会員団体・役員団体や環境活動団体との連携を行うとともに、なにわエコ会議の魅力や知名度を高め、子どもや学生など若い世代の参加を促進し、会員数や活動参加者の増に繋げていきます。
- ② 「なにわエコ会議賞」を活用し、さまざまな環境活動を積極的に実施している個人や団体を応援、連携していきます。
- ③ 区役所などのイベント主催団体との相互協力を強化し、環境出前講座をはじめとする地域での環境教育・啓発活動を精力的に推進します。
- ④ 地球温暖化防止やプラスチックごみ削減に向け、市内で活動する事業者などと協働した取組みを推進するとともに、大阪市環境経営推進協議会と連携を図ります。

- ⑤ 大阪府・市の「プラスチックごみゼロ宣言」を受け、エコバッグを常時携帯する「大阪エコバッグ運動」や「天神祭りごみゼロ実行委員会」に参加するなど、地域ぐるみの資源循環型社会の形成を目指した活動に参画します。
- ⑥ 市内での生物多様性保全に向けて活動する団体と連携、協働を行い、環境や生き物の多様性を守る行動へ繋げていきます。

【エコライフ部会】

地球温暖化の緩和と適応をはじめ、気候変動の影響への対策も踏まえながら、人や環境や社会に配慮した持続可能社会の提案と低炭素社会の構築に向け、市民一人ひとりの実践行動を支援していきます。

日本は、「2050年カーボンニュートラル宣言」を行うとともに、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年比46%削減するとしています。

そのために、環境省は「脱炭素社会」「サーキュラーエコノミー（循環経済）」や、「分野横断のグリーンライフ・ポイント」等を令和4年度の重点施策としています。エコライフ部会として、これらについての情報提供や、意識啓発も重要と考えます。

1. 「脱炭素社会」「サーキュラーエコノミー（循環経済）」や、「分野横断のグリーンライフ・ポイント」等についての情報提供や意識啓発を行います。

（1）脱炭素社会への移行

住宅に関するルール強化としての、省エネ基準義務化と太陽光促進。

住宅のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）化の啓発と実装化支援情報の提供。

脱炭素型ライフスタイルの取組みとして、食品ロスの削減、公共交通機関の活用や再エネ電気への切り替えなどの提供。

（2）サーキュラーエコノミー社会への移行

プラ資源循環法に対処する啓発と行動促進

Green housing の啓発と推進（ZEH化とほぼ同意）

（3）グリーンライフ・ポイントへの取組み

Green food 地産地消、旬産旬消の食活用

Green clothing 服のサブスク*活用

Green transportation カーシェアの利用、シェアサイクルの活用

※サブスク…サブスクリプションサービスの略

製品ごとに購入金額を払うのではなく、一定期間利用することに対

して、お金を支払う方式のこと

2. SDGs をふまえ、日常生活におけるエコライフの意識醸成活動を行います。
 - (1) CO2排出の約6割が、衣食住を中心とする「ライフスタイル」に起因していることから、冊子「楽しくかしこくエコライフ」（改訂版）、食べ残しNOゲーム等を活用したセミナーなどを行います。
 - (2) また、環境に配慮した選択として、マイバッグの使用、環境配慮商品の選択、などを学び、エコライフを推進します。
3. イベントへの出展等を通じて、エコライフを推進します。

※活動にあたっては、セミナーの協働開催など、なにわエコ会議内の部会間の協働を推進します。

(主な活動)

情報提供・意識啓発のセミナー（「脱炭素社会」「サーキュラーエコノミー（循環経済）」「分野横断のグリーンライフ・ポイント」等）、エコライフの意識醸成セミナー（冊子「楽しくかしこくエコライフ」を活用したセミナー、食品ロス削減セミナー等）マイバックキャンペーン（啓発部会との協働）、環境ふれあいひろば（全体活動）、協働団体等への出展など

【環境教育・啓発部会】

環境問題に関心をもち活動している個人・団体と積極的に連携を深めつつ、地域と連携した環境教育・啓発活動を推進するとともに、若い世代の参加の促進を図ります。

- 1 市内各区・団体等のイベントに積極的に参加するとともに、地域と連携した取り組みを行います。
 - ① 「大阪市こどもカーニバル」に参加出展する。
 - ② 「咲洲こども EXPO」に参加出展する。
 - ③ 「鶴見区民まつり」に参加に出展する。
 - ④ 「エコ縁日」に参加出展する。

2 「脱炭素社会」や「プラスチックごみ減量」「SDGs」などを取り入れた環境教育・啓発活動をさらに推進する。

- ① 「ガレッジセール」に参加出展する。
- ② 「マイバッグキャンペーン」に参加する。
- ③ 「南港野鳥園 清掃活動」に参加する。

3 大阪市の環境読本「おおさか環境科」や「食べ残し NO ゲーム」などを積極的に活用した出前講座を実施します。

- ① 「おおさか環境科」を実施する。
- ② 「食べ残し NO ゲーム」を実施する。

4 「エネルギー関連実験機材」「エコすごろく」「エコ紙芝居」「なぞなぞ帳」「観察・実験」「自然工作」など活用し、効果的環境教育・啓発活動を推進します。

- ① 上記イベント等の内容充実、理解度を深めるため上記活動等を積極的に取り入れる。

5 上記の活動にあたっては、保育所・幼稚園・小中学校の PTA や大学・高等学校等の教育機関や環境保全活動に取り組んでいるサークル等との連携を図ります。

- ① CHOVORA!! (大阪公立大学) との協働をはかる。
- ② 活動する地域に活動に関する広報活動等を実施する。

(主な活動)

おおさか環境科 (生物多様性部会との協働)、食べ残し NO ゲーム出前講座、マイバッグキャンペーン (エコライフ部会との協働)、環境ふれあいひろば (全体活動)、大阪市こどもカーニバル、咲洲こども EXPO (生物多様性部会との協働)、ECO 縁日、鶴見区民まつり (生物多様性部会との協働)、ガレッジセールなど

【環境に配慮した企業部会】

カーボンニュートラルに向けた脱炭素社会や海洋汚染防止に向けたプラスチックごみ削減など持続可能な社会の構築に向けて、企業の環境への取組みを促進するために、大阪市、企業・企業団体と連携した活動を推進し、SDGs 達成に貢献していきます。

- ① 脱炭素社会推進やプラスチックごみ削減など大阪市の環境関連施策に協力していきます。

- ② 大阪市環境経営推進協議会の環境活動（セミナーや視察研修会等）に協力していきます。
- ③ エコアクション 21 認証取得及びレベルアップの EA21 スクール（講習会）を実施します。
- ④ CO2 削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペを実施し、優秀な事業者には、大阪市と連名で表彰を行います。また、表彰式と併せて環境セミナーを開催します。
- ⑤事業者からの希望に応じて、SDGs や ESG 経営などの取組みについて、オンライン相談や訪問相談による支援を行います。

（主な活動）

エコアクション 21 スクール、CO2 削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペ（表彰式、セミナー）、SDGs や ESG 経営のオンライン相談や訪問相談、環境ふれあいひろば（全体活動）など

【生物多様性部会】

広く市民に生物及び生物多様性の重要性を知ってもらうとともに、特に、次世代を担う子どもたちに関心を持ってもらうことを目的に、「大阪市生物多様性戦略（2021.3）」に基づいた普及・啓発等を行います。

また、その効果を高めるために、様々な団体とのネットワークの形成に努めます。

1. 図書館水生生物等展示及び講演
2020、2021 年度に引き続いて実施する。
2. 淀川自然 探検隊
淀川河口について、陸域、水域の生物多様性を数回の観察会をとおして啓蒙する。
内容としては石干見漁（干潟部分の魚等を潮の干満を利用して採取・観察する）、魚釣り体験、鳥類観察を行う。
できれば、淀川上流部（水無瀬川等）の河川水生生物 観察会）を実施する。
3. 大阪市子どもカーニバル
水生生物等展示を行う。
4. おおさか環境科
水生生物についての講演及びスケッチ指導 を学生ボランティアと行う。
5. わくわく夏休みお助け隊
水生生物についての講演及びスケッチ指導を行う。

6. なにわ子ども育成会自然観察への参加
水生生物の観察会が予定されれば、講師を派遣する。
7. E C O 緑日
水生生物等展示を行う。
8. 咲洲こども
EXPO 水生生物等展示を行う。
9. 環境ふれあい広場
水生生物等展示を行う。
10. 生物多様性の保全に向けたネットワーク会議
本会議に参加し、様々な団体とのネットワークの形成に努める。

(主な活動)

図書館水生生物等展示及び講演、淀川自然探検隊、環境ふれあいひろば（全体活動）など、主に子どもを対象とした生物多様性に関する普及・啓発活動を行う。可能であれば、水生生物以外の生物の展示等を行う。